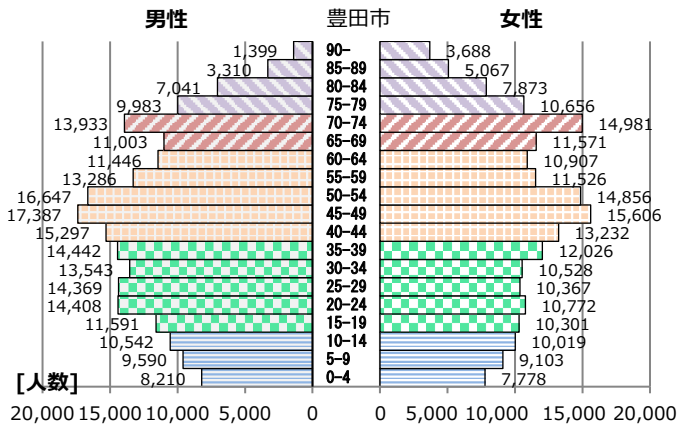


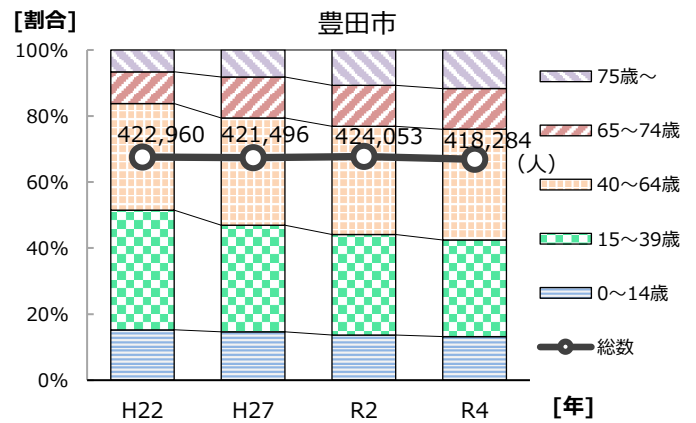
# 保見中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

## ● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



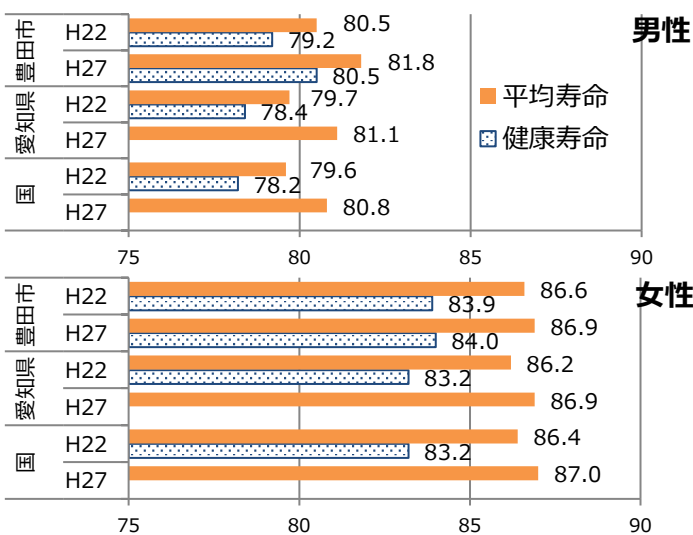
②人口推移 (各年4月1日)



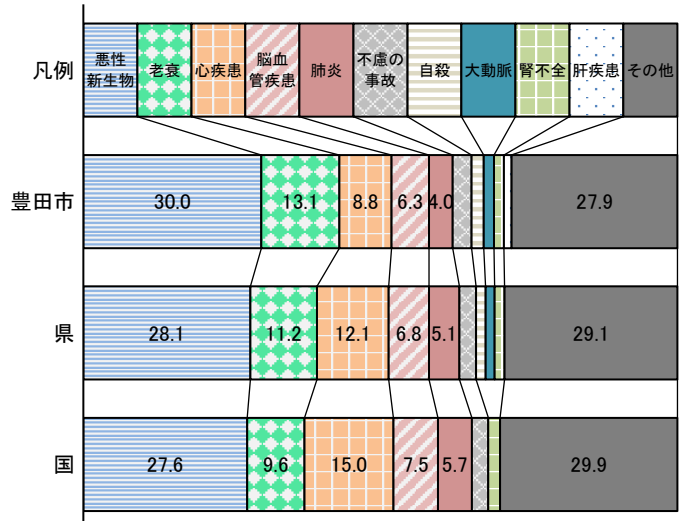
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%  
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

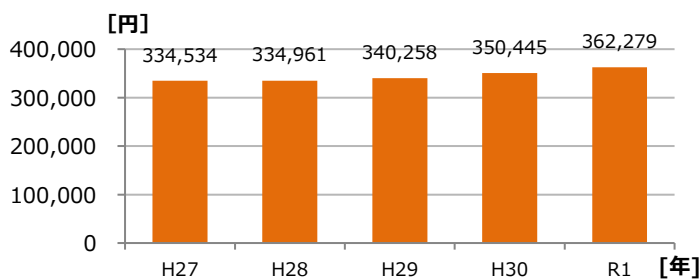


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

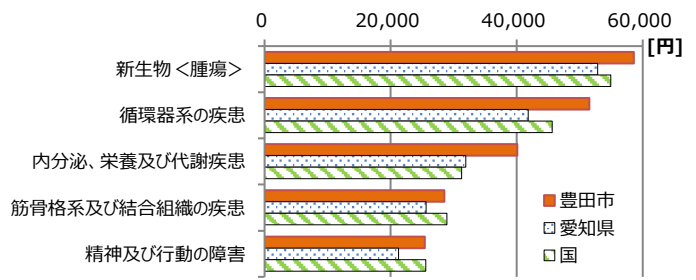


### 国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

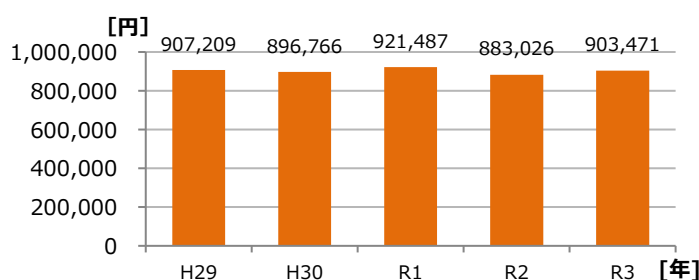


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

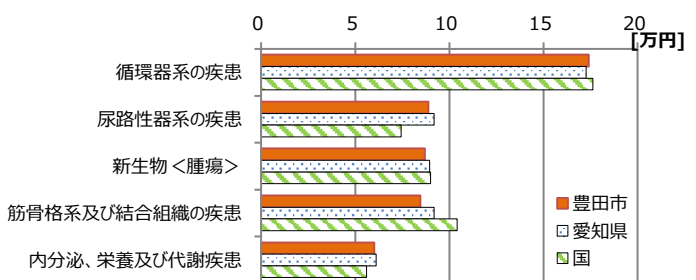


### 後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

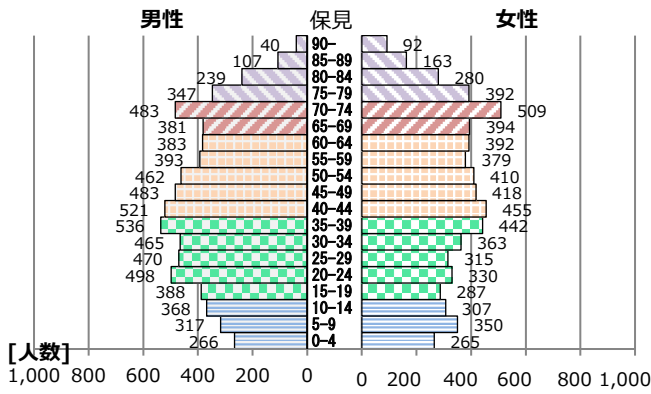


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

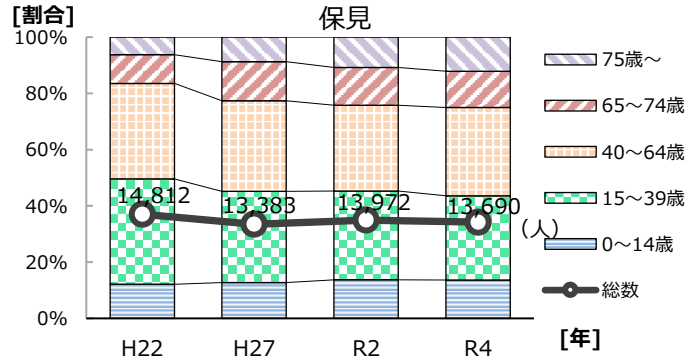


# ● 保見地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



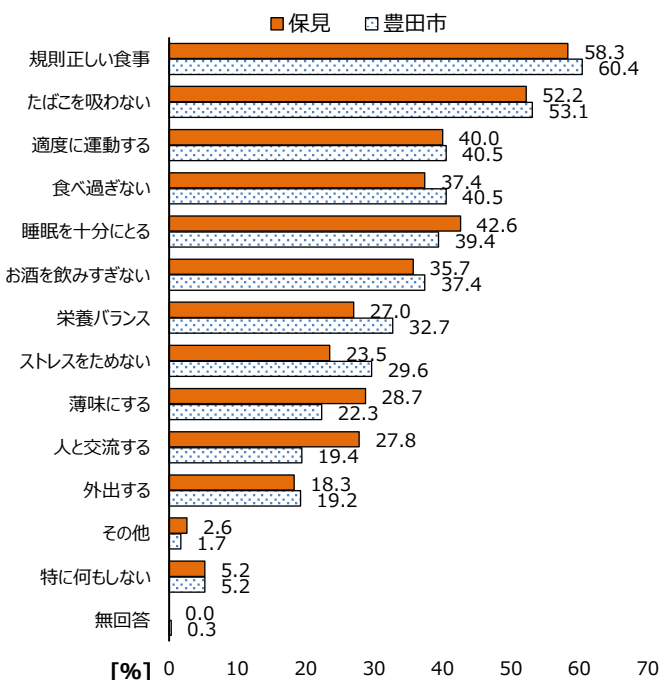
・総人口：13,690人（男性7,147人、女性6,543人） ・世帯数：6,364 ・高齢化率：25.0%  
 ・要介護認定率：13%（令和4年10月1日） ・外国人：4,121人

## ⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

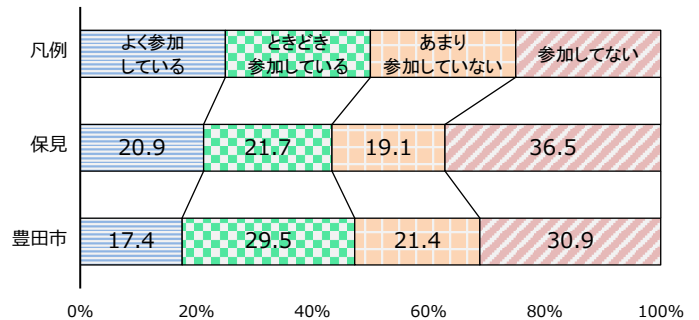
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・13自治区
地域課題解決事業	・～すみよい保見地区のために～生活環境の向上を目指す事業(環境対策)
交流館	・自主グループ37グループ（うち健康・スポーツは7グループ）
ヘルスサポートリーダー	・会員数19人 ・交流館ふれあいまつり、自主グループ等にて「ベジタブル&トレーニングとよたプラス10」の啓発や健康チェック、元気アップ体操、レクリエーションを実施
高齢者クラブ	・9クラブ
ふれあいサロン	・10サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：篠原、田柁町、伊保町、保見緑苑 ・その他：ほっと茶論ひろみ(サロン)、フレッシュ保見(交流館)
その他	・外国籍の住民が多く、日本語の学習の場がある。

## 市民意識調査(令和3年度)

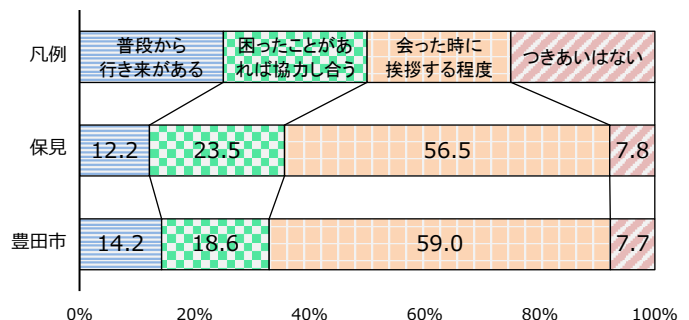
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

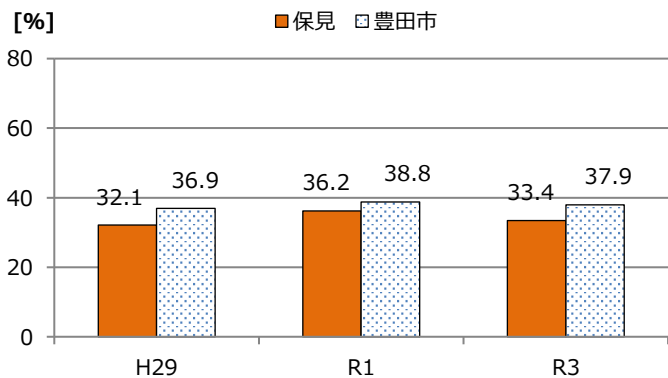


⑮実際の近所づきあい

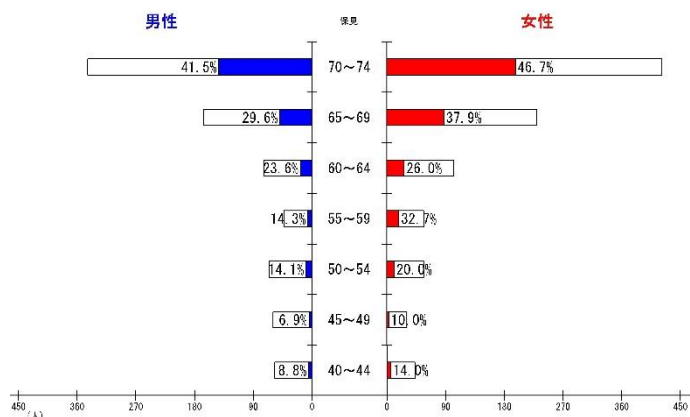


# 豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

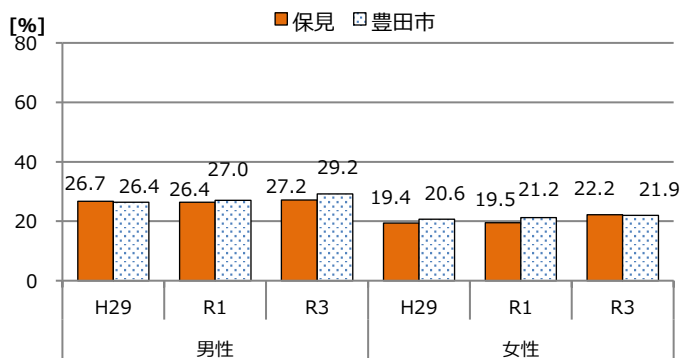
⑬ 健診受診率



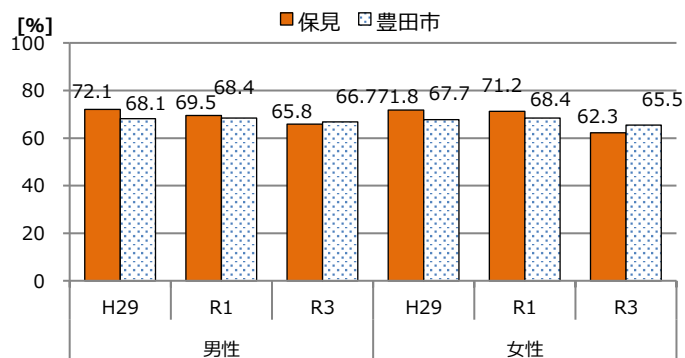
⑭ 年齢別受診者数(対象者数 1,708 人,受診者数 570 人)



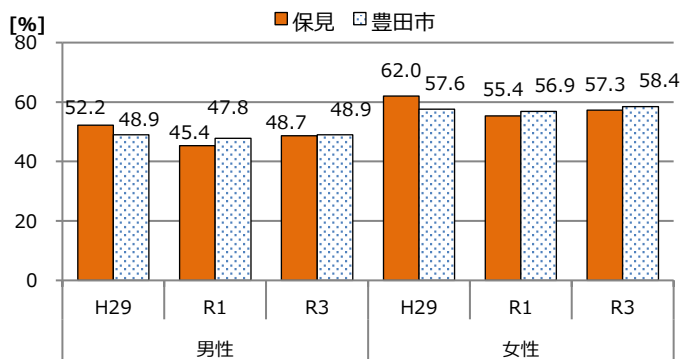
⑮ BMI (25 以上)



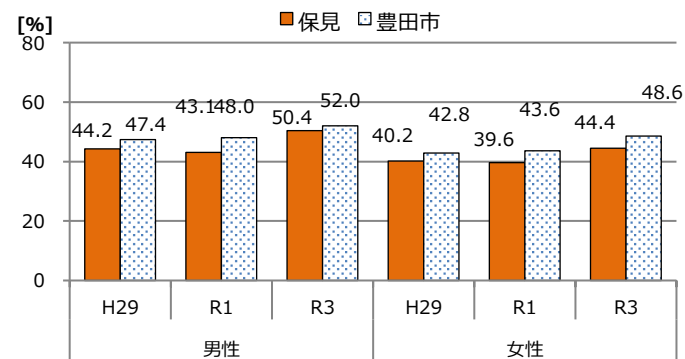
⑯ HbA1c (5.6%以上) \*糖尿病の指標の検査項目



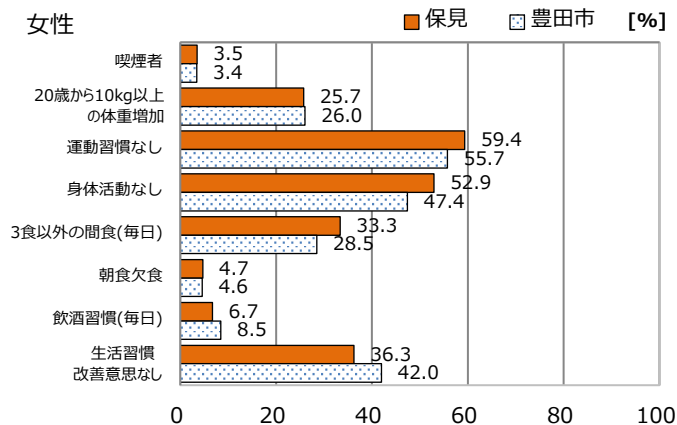
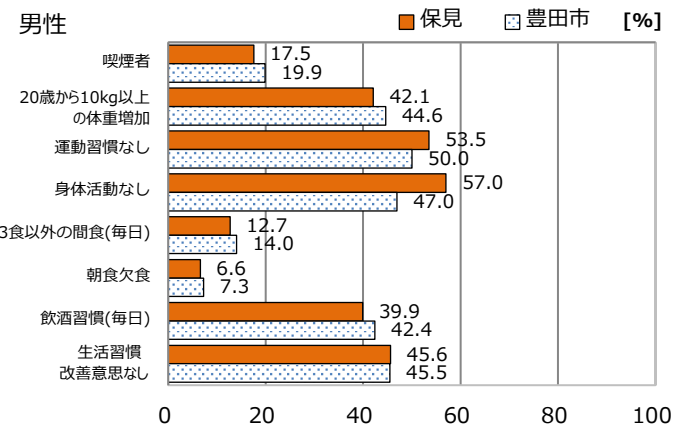
⑰ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



⑱ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



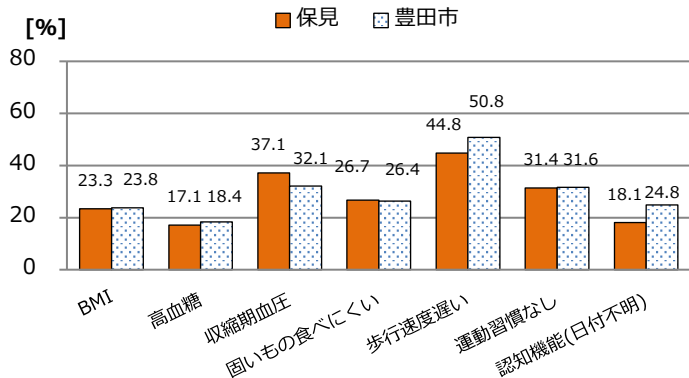
⑲ 問診



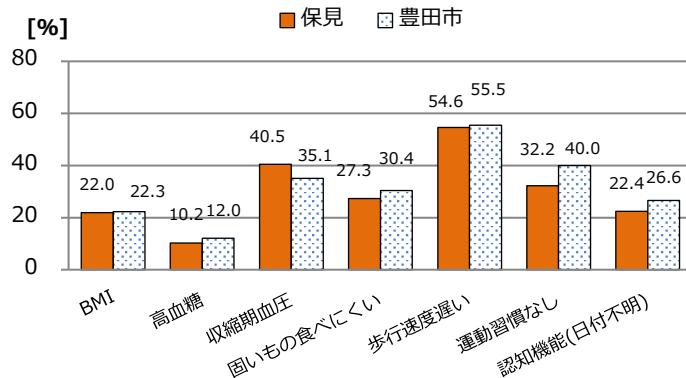
⑳ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	性別	項目
国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	3食以外の間食(毎日)、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	-
	女性	飲酒習慣(毎日)

㉔男性



㉕女性



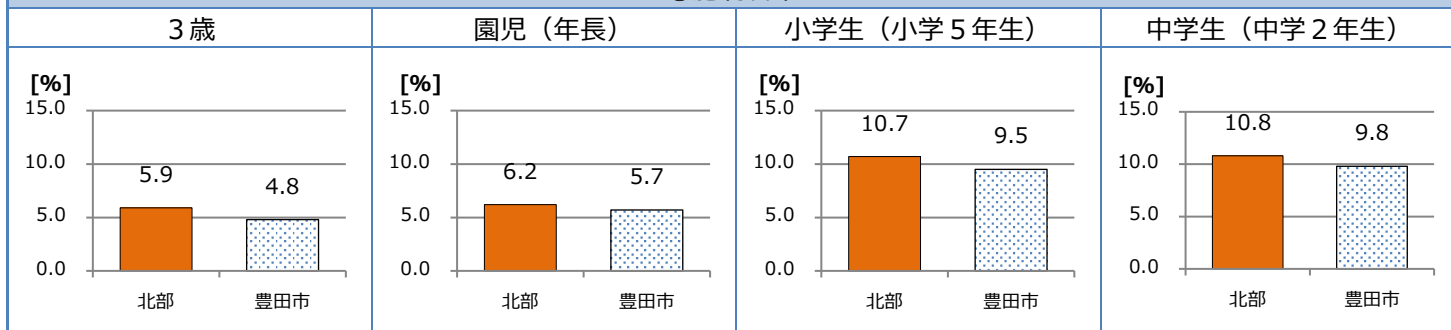
【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上

【地区の受診者数】 415 人(男性 210 人、女性 205 人)

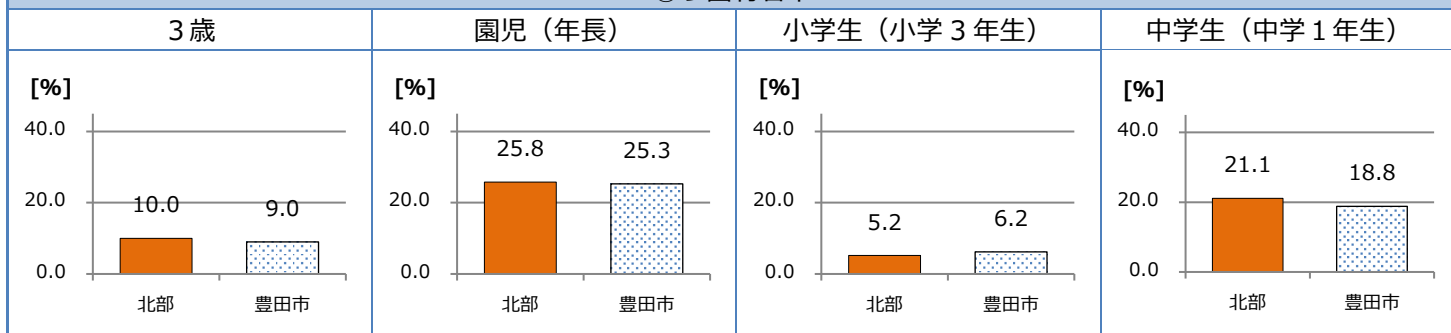
子ども 健康診査(令和3年度)

【北部】 井郷・石野・猿投・猿投台・保見・藤岡・藤岡南

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は経年的に市より低く、健診受診の意識づけや受診行動につながる取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査の結果において、年齢調整による国との比較では、男女ともに「生活習慣改善意思なし」が有意に高い。また、後期高齢者医療制度の健康診査結果では、男女ともに「収縮期血圧」の該当者割合が市より高い。そのため、野菜摂取促進や減塩、運動習慣の定着等をはじめとした生活習慣改善に向けた啓発や取組が必要である。
- ・要介護認定率は市より低い、高齢化率は市より高く、今後も高齢者の増加が見込まれるため、元気アップ教室等の介護予防の取組を更に広げていく必要がある。
- ・市民意識調査で、「自治区・地域活動」への参加割合が市よりも低いため、地域ぐるみで健康づくりに取り組める機会を増やし、健康意識の向上に努める必要がある。